

## SC販売統計調査報告 2016年1月

### 既存SC前年同月比 : +0.9%

#### サービスや飲食が好調、近場の「楽しむ"場"」としてSCが存在感を示す

##### <全体概況>

1月のSC販売額は飲食、サービスの好調を受けて前年同月比がプラス(+0.9%)となった。サンプル数は513SC。  
月前半は、12月に続き暖冬の影響で婦人服を中心にした重衣料が不振だったことに加えて、月後半は大雪となった地域で客数が伸び悩んだものの、全体では飲食、サービスが牽引し、前年同月比プラス(+0.9%)となった。テナントは0.8%、キーテナントは1.3%と共にプラスの結果となった。

立地別では、周辺地域が+1.9%と健闘したが、アパレルの比重が高い中心地域は前年同月比-1.2%と奮わなかった。

地域別では、北陸を除く8地域がプラスとなり全国的に好調だった。特に訪日観光客数が伸びている北海道においては前年同月比+3.5%と好調を維持した。前月の調査では東京区部や政令指定都市とそれ以外の都市とで好不調の差が見られたが、1月は東京区部を含む政令指定都市が+0.8%、それ以外の地域が+1.0%と共に好調であった。

好調業種としては前述した飲食やサービスが挙げられる。重衣料は前月に引き続き不調であるSCが多かったが、月後半の気温低下に伴い売上げがよくなったとの報告もみられた。

##### <トピックス>

2016年の年始休暇は昨年と比較して1日短かった。そのため、外出先に遠くの観光地よりも、近場のSCを選んだファミリーが増加したことが飲食、サービスの好調につながった。集客力向上のために「買い物に行く"場"」から「楽しむ"場"」として力を入れてきた近年の傾向が、良い結果として現れた月であった。

※サンプル数:513SC (回収率51.3%)

※本調査は、2013年12月末現在の全SC3,134SCの中から立地別・SC規模別に1,000SCをサンプル抽出し、調査したものをまとめた。

※当協会のSC販売統計調査報告は、政府統計に合わせて消費税を含めて算出しております。

※SC総売上高(推計)は、年間総売上高として別途発表させていただきます。

表-1 立地別・構成別 売上高伸長率

立地	SC数	総合	テナント	キーテナント
総合	513	0.9	0.8	1.3
地域中心	大都市	-1.2	-1.4	1.2
	中都市	-1.3	-1.0	-2.8
	小計	139	-1.2	-1.1
周辺地域	374	1.9	1.9	1.7

(注)

##### ■都市規模

大都市:札幌・仙台・千葉・東京区部・川崎・横浜・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡・北九州の各市  
中都市:上記都市を除く人口15万人以上の都市

##### ■立地

※平成28年1月1日、立地区分を改定しました。  
改定後の立地区分についてはこちらをご覧ください。

中心地域:人口15万人以上の都市(東京23区を含む162都市)で、商業機能が集積した中心市街地  
周辺地域:上記中心地域以外の全ての地域

表-2 立地別・地域別 売上高伸長率

立地(SC数)	地域										
	総合	北海道	東北	関東	中部	北陸	近畿	中国	四国	九州・沖縄	
総合	513	0.9	3.5	1.0	0.4	2.9	-2.7	1.3	0.5	0.5	0.7
中心地域	139	-1.2	0.8	-1.4	-1.5	-1.9	-5.0	-1.4	-3.3	-4.8	2.4
周辺地域	374	1.9	9.1	1.8	1.5	4.1	-2.5	2.2	1.8	1.8	-0.2
(SC数)	513	18	30	198	61	32	96	30	12	36	

(注) ■地域

北海道:北海道  
東 北:青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県  
関 東:茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県  
北 陸:新潟県・富山県・石川県・福井県  
中 部:長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県  
近 畿:滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県  
中 国:鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県  
四 国:徳島県・香川県・愛媛県・高知県  
九州・沖縄:福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

表-3 都市規模別・地域別  
売上高伸長率

都 市	SC数	総 合	テナント	キーテナント	
総 合	513	0.9	0.8	1.3	
政 令 指 定 都 市	札幌市	11	1.8	1.8	—
	仙台市	5	-0.7	-0.7	—
	千葉市	6	-3.7	-3.7	—
	東京区部	57	0.7	0.0	3.5
	横浜市	14	0.0	0.5	-2.5
	川崎市	9	2.1	1.7	6.0
	名古屋市	14	1.5	3.4	-5.6
	京都市	7	0.0	-1.0	1.7
	大阪市	22	-0.6	-1.0	3.7
	神戸市	16	4.6	4.8	2.6
	広島市	8	-4.2	-4.2	-3.4
	北九州市	2	3.6	4.2	-0.3
	福岡市	10	2.6	2.7	1.7
	小 計	181	0.8	0.7	1.5
そ の 他 の 地 域	北海道	7	11.0	12.8	-1.0
	東北	25	1.5	0.9	2.8
	関東	112	0.2	0.2	0.3
	中部	47	3.3	3.0	4.5
	北陸	32	-2.7	-5.1	-0.1
	近畿	51	1.4	2.2	0.0
	中国	22	2.1	0.8	5.6
	四国	12	0.5	-0.8	2.0
	九州・沖縄	24	-0.3	-0.6	0.5
小 計	332	1.0	0.9	1.2	

※「その他の地域」には、政令指定都市は含まない。

※2003年以降、さいたま市、静岡市、浜松市、新潟市、

堺市、岡山市が、2010年4月は相模原市が、2012年4月は熊本市が政令指定都市となったが、さいたま市、相模原市は関東地域、静岡市・浜松市は中部地域、新潟市は北陸地域、堺市は近畿地域、岡山市は中国地域、熊本市は九州・沖縄地域に含めた。

表-4 キーテナント業態別  
売上高伸長率

キー業態	SC数	%	
総 合	513	0.9	
核なし	278	0.8	
1 核	Dpt	14	1.0
	GMS	124	1.8
	SM	40	1.3
	SS	3	6.6
	HC	1	3.2
	専門店	4	3.9
	生協	4	1.4
	Dgs	2	1.2
	小 計	192	1.7
	2 核	Dpt+GMS	2
Dpt+SM		2	-4.3
GMS+SM		2	0.2
GMS+HC		1	1.7
GMS+専門店		5	-2.4
SM+SS		3	-1.8
SM+HC		1	-11.1
SM+DS		2	-0.4
SM+専門店		10	0.8
生協+HC		1	-1.8
その他	7	-3.7	
小 計	36	-1.9	
3核 以上	Dpt+GMS+HC	2	0.2
	その他	5	2.3
小 計	7	1.7	

表-5 立地別SC・テナント・キーテナント効率

立地(SC数)	売上高・店舗面積		売上高		店舗面積		1SC当り売上高 (千円)	坪効率 (千円)	1SC当り 平均面積 (㎡)
			(千円)	前年比	(実効㎡)	前年比			
SC総合	総合	513	562,482,582	0.9	9,662,579	-0.1	1,096,457	192	18,835
	中心地域	139	169,483,504	-1.2	1,856,876	-0.5	1,219,306	301	13,359
	大都市	67	111,049,330	-1.2	1,000,068	-1.2	1,657,453	366	14,926
	中都市	72	58,434,173	-1.3	856,809	0.2	811,586	225	11,900
	周辺地域	374	392,999,078	1.9	7,805,703	0.0	1,050,800	166	20,871
テナント	総合	513	440,728,876	0.8	6,816,549	-0.2	859,121	213	13,288
	中心地域	139	152,018,573	-1.2	1,624,051	-0.8	1,093,659	309	11,684
	大都市	67	103,501,116	-1.4	939,241	-1.0	1,544,793	364	14,019
	中都市	72	48,517,456	-1.0	684,811	-0.6	673,854	234	9,511
	周辺地域	374	288,710,303	1.9	5,192,498	0.0	771,953	183	13,884
キーテナント	総合	235	121,753,706	1.3	2,846,030	0.2	518,101	141	12,111
	中心地域	22	17,464,931	-1.1	232,825	1.2	793,861	248	10,583
	大都市	4	7,548,214	1.2	60,827	-4.1	1,887,054	410	15,207
	中都市	18	9,916,717	-2.8	171,998	3.3	550,929	190	9,555
	周辺地域	213	104,288,775	1.7	2,613,205	0.1	489,619	132	12,269

注: 売上高(総合)は、調査対象513SCの合計値です。

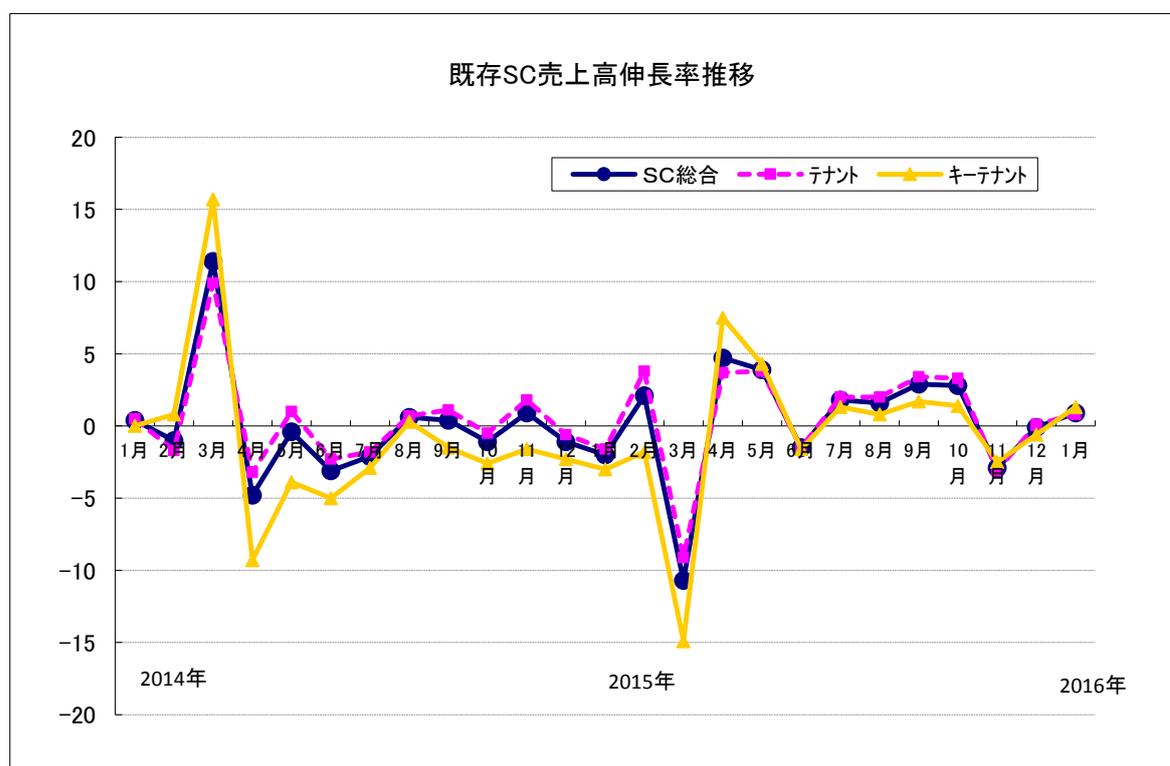


表-6 SC・百貨店・チェーンストア 売上高前年対比

		S C			百貨店	チェーン ストア
		既存SC				
		SC総合	テナント	キーテナント		
年別	00年	-3.4	-3.1	-3.7	-2.2	-5.1
	01年	-2.2	-1.4	-3.3	-0.4	-5.2
	02年	-2.1	-2.1	-2.1	-2.3	-2.1
	03年	-1.6	-0.8	-2.4	-2.8	-3.2
	04年	-1.7	-0.9	-2.9	-2.8	-3.5
	05年	0.3	1.5	-1.9	-0.2	-2.6
	06年	0.3	0.9	-0.7	-0.7	-2.7
	07年	-0.0	0.3	-0.6	-0.5	-1.4
	08年	-1.5	-1.1	-2.3	-4.3	-0.7
	09年	-6.8	-6.5	-7.4	-10.1	-4.3
	10年	-2.0	-1.7	-2.8	-3.1	-2.6
	11年	-1.3	-1.1	-1.5	-2.0	-0.8
	12年	0.5	1.5	-1.6	0.3	-1.9
	13年	-0.5	-0.1	-1.3	1.6	-0.7
	14年	0.1	0.5	-0.9	0.3	-0.6
15年	0.0	0.3	-0.6	-0.2	0.7	
2015四半期別	(1～3月)	-4.3	-3.2	-7.1	-8.6	-4.0
	(4～6月)	2.2	1.8	3.3	6.4	4.1
	(7～9月)	2.0	2.1	1.5	2.7	2.3
	(10～12月)	-0.1	0.0	-0.5	0.3	0.5
2015上半期	(1～6月)	-1.2	-0.8	-2.2	-1.9	0.0
2015下半期	(7～12月)	0.9	1.1	0.4	1.4	
2015月別	1月	-2.0	-1.6	-3.0	-2.8	-1.7
	2月	2.1	3.8	-1.8	1.1	-0.8
	3月	-10.7	-9.1	-14.9	-19.7	-8.6
	4月	4.7	3.7	7.5	13.7	6.4
	5月	3.9	3.8	4.3	6.3	5.7
	6月	-1.5	-1.5	-1.6	0.4	0.3
	7月	1.8	2.0	1.3	3.4	1.9
	8月	1.6	2.0	0.8	2.7	2.0
	9月	2.9	3.4	1.7	1.8	2.9
	10月	2.8	3.3	1.4	4.2	2.8
	11月	-2.9	-3.1	-2.5	-2.7	-1.0
	12月	-0.1	0.1	-0.6	0.1	0.0
2016月別	1月	0.9	0.8	1.3	-1.9	
出典		日本ショッピングセンター協会			百貨店 協会	チェーン ストア協会

調査分析 一般社団法人日本ショッピングセンター協会 情報企画部  
TEL 03-3536-8121 <http://www.jcsc.or.jp>